第3章 事業別戦略

機械加工品事業

圧倒的な高シェアと 蓄積されたコア技術で高収益

主要製品

ボールベアリング ロッドエンドベアリング スフェリカルベアリング ローラーベアリング

ブッシング ピボットアッセンブリー メカニカルアッセンブリー

航空機用ネジ類

ファスナー



2018年3月期の概況

■ 機械加工品事業 ハイライト

営業利益率 ½25_%

ROIC ±30% ボールベアリング外販数量①

四半期連続で 前年同期比增加

(2017年度 第4四半期時占)

ボールベアリング外販数量②

? 億個/月 _ 以上

(+内販0.8億個/月)

ボールベアリング生産数量

2.8億個/目

多数の製品で

圧倒的

シェア

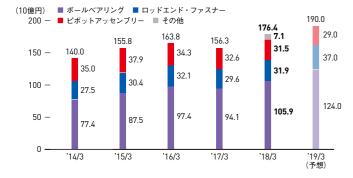
製品ポートフォリオ

拡大中

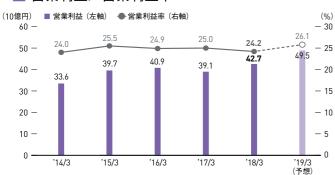
成長をドライブする

自動車のEV化など

■ 売上高



■ 営業利益/営業利益率



*2018年3月期までは日本会計基準、2019年3月期予想はIFRS

当期の概況

売上高・営業利益ともに過去最高を更新

主力製品であるボールベアリングは、自動車向けやデータ センター向け冷却ファンを中心とした旺盛な需要が続きました。 外販数量は、月次ベースで5度過去最高を更新し、3月には213 百万個を記録。また生産数量は、期初時点の月産250百万個 から、期末の3月には月産288百万個へと、生産性改善活動の 積み上げにより大幅な増加を達成。 ロッドエンド・ファスナーは、 中小型機市場での需要増加を受けて増収となりました。ピボッ トアッセンブリーは、HDD (ハードディスクドライブ) 市場規模 縮小の影響にも関わらず、市場シェアは80%超を維持し、安定 的に収益に貢献しました。

この結果、売上高は1,764億円、営業利益は427億円と、い ずれも過去最高を更新しました。

なお、第3四半期より、買収したC&A Tool Engineering (C&A) とMach Aeroグループ (Mach Aero) を新規連結し ています。

来期の見通し

大幅な増収・増益で成長が加速

主力製品であるボールベアリングは、世界的な需要の増加に

合わせて、生産性の改善及び設備投資による大幅な増産体制 を整備するとともに、引き続き自動車業界等への積極的な拡販 を進めます。また、ロッドエンド・ファスナーについても、生産 性の改善、中小型機を中心とする拡販、そして買収シナジーの 発現により、競争力のさらなる強化を進めます。

7本槍戦略(機械加工品事業)

7本槍戦略の① ベアリング

ボールベアリング:次なる成長ステージへ

従来、ボールベアリングの外販は年率5~7%で成長してきま したが、2017年3月期以降、年率10%へと成長が加速していま す。需要をけん引しているのは自動車、データセンター向け冷 却ファン、高級家電、小型ロボット(ドローン等)で、いずれ も省エネ性や安全性といった高機能化が進み、当社の超高品 質、超精密なベアリングが使用されています。力強い需要を受 けて生産能力の拡大も積極的に進めています。今後も、品質、 供給力等での市場で圧倒的な競争優位性を発揮し、収益基盤 をさらに強固にしてまいります。

■ボールベアリング外販数量



航空機部品:収益改善、買収シナジーで大きく成長

世界の航空機市場は、旅客数の増加や燃費効率の改善とい ったメガトレンドを受けて、長期にわたって安定的な成長を見込 んでいます。航空機部品は、高温・高速・高荷重などの厳しい環 境に耐えられる高度な耐久性と安全性が求められますが、当社 は欧州・北米・アジア(日本・タイ・インド)の3極において、高品 質で安定的に供給できる生産体制を整備しています。今後も、 グローバルでの生産体制の強化を推し進めるとともに、買収し たC&AとMach Aeroとのシナジーで力強い成長を追求してま いります。

■航空機部品売上計画



未来へ向かって

安定成長とポートフォリオ拡充で今後も強いドライバー

機械加工品事業は、当社創業以来のコア事業として安定的 かつ永続的な成長を維持するとともに、ポートフォリオを拡充 することで成長領域を最大化することが、基本戦略となります。 そのために、すでに市場で圧倒的な競争優位性を誇るミニチュア・ 小径ボールベアリングをさらに強化するとともに、新技術の獲 得やポートフォリオの拡充等を目的とする積極的なM&Aを通し て、収益基盤をさらに強固にすることに取り組んでいます。

その一環で、2017年度は海外で2社のM&Aを行いました。 1社は米国のC&Aで、医療・航空機分野向けに3Dプリンティ ング技術や特殊金属加工技術を保有しています。もう1社はフ

ランスのMach Aeroで、航空機市場向けにエンジン関連や回 転翼関連の事業を保有しています。さらに、両社とも当社の拠 点戦略においても大きなトップラインシナジーが見込まれます。

今後も、多面的なシナジー効果をグローバルに創出し、機 械加工品事業のさらなる発展を目指します。





Mach Aero Bretigny Rectification SAS

C&A Tool Engineering, Inc.

25 ミネベアミツミグループ統合報告書 2018 ミネベアミツミグループ統合報告書 2018 26